

～ All for one, One for all. ～

光 の 家

LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設

東京光の家会報

— 176 号 —

2014 年 1 月 1 日発行

もろもろの天は神の栄光をあらわし、大空はみ手のわざをしめす。
この日は言葉をかの日につたえ、この夜は知識をかの夜につげる。
話すことなく、語ることなく、その声も聞えないのに、その響きは全地にあまねく、その言葉は世界のはてにまで及ぶ。

旧約聖書「詩篇」

第一九篇一～四節



新年を前に、恒例の「心塾もちつき大会」に参加する利用者

謹賀新年

新年あけまして
おめでとうございます

皆様には佳き新年をお迎えのことと存じ、心より慶賀申し上げます。旧年は国内外を問わず困難な課題の多い一年でしたが、皆様からの温かいご支援を賜り、お陰様で無事に新しい年を迎えることが出来ました。利用者はじめ、役員一同、深く感謝致しております。

昨年、東京光の家は新しい施設を開設し、地域福祉に向けて新たな一步を踏み出しました。本年も創立の基本精神のもと、社会からの要請に応えるべく、微力ながらも誠実に与えられた使命を果たして参る所存です。

何卒、本年も旧年同様に変わらぬご指導ご鞭撻を賜りたく、併せて皆様方のご多幸とご健勝をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。

平成二六年 元旦

社会福祉法人 東京光の家

理事長 田中 亮治

近づく「光の家百年」に向けて

社会福祉法人 東京光の家 評議員 加藤 保武



新年おめでとうございます。

今年は震災後四年目、復興が加速し被災者の日常が一日も早く取り戻せることを願わずにはいられません。

私は平成二二年三月に定年退職し五年が経ちました。この間、障害者の就労支援の現場に向いて一般企業に働く方々の支援にあたってきました。いわばこれが現在の私の本業でもあります。一方、光の家との関わりも今の私には欠かせないものとなっています。バザーをはじめ、行事のボランティアに年数回参加し、一〇月からは新設の就労ホームでの作業ボランティア

アにも加えてもらっています。

また、大学の教職課程で義務付けられている介護等体験の事前講義（光の家の歴史・基本理念・盲重複障害者の生活等）を、田中理事長から機会をいただいて近隣の女子大学で毎年三回行っています。この五年間を振り返ってみますと、光の家を内側から見ていた現役時代に比べて外側からも見るという新しい経験が得られ、自分が今このような場に在ることを大変感謝しています。

障害者の就労支援に関係し始めて以来、特別支援学校の学生や就労移行、就労継続B型の事業所からの就労希望者に会い、学校や事業所にも出入りする機会が少なくありません。そんな時、無意識の内に光の家との比較の眼で見えてしまうことがあります。職員の働く様子や生

活する利用者の表情、挨拶、服装、食事、清掃などが気になつて辛口の評価を密かにしてしまふことがあるのです。しかし近年の社会からの厳しい眼を意識してか各事業所が一樣に努力されてきている印象も受けます。それはここ一〇年の福祉制度改革が一定の成果を上げつつあるのかもしれない。しかし、その一方で多くの事業体の掲げる

大本の理念が「社会の期待に沿って・」、「差別を排して・」等々、普遍性というより今日性という視点で掲げられているようにも思えます。これに対し光の家は聖書の信仰を基本的な理念として掲げていますが、光の家を外から見えてきた結果、この理念こそが光の家たらしめているものであることを改めて嬉しく思います。

創立九〇周年記念誌「みことばに導かれて」が一昨年五月に出版され、私はこの編集に携わることが出来ました。この記念誌の完成を待たずに田中ノゾミ

先生は亡くなれましたが、生前、記念誌のインタビューに答えられた言葉を思い出します。「私たちも色々な苦勞をしま

したが『神様は万事を益となるようにして下さる』とローマ書にある通りで今から考えると全てが必要な苦勞であった事が良く分かります。だからその苦勞があつたとしても職員はもつと勉強して利用者のために専門性を身につけてもらいたい。そして創立の精神を守り、聖書の神様に全てをお任せするという基本を忠実に守る事です。」

文字通り創立者の下で育ち、田中理事長と共に五〇余年を現場人として重複障害者に捧げて来られた先生の言葉です。これは創立者を知らない世代の職員に対する遺言であると改めて感じます。あと六年で光の家は百年という大きな節目を迎えますが、ノゾミ先生の言葉を光の家に連なる多くの利用者、職員の方々とともに深く噛みしめて新年を迎えたいと思います。



第一部礼拝 相澤理事による記念講演



第二部祝会 聖歌隊による讃美歌



第二部祝会 新生園による演劇

光の家のクリスマスは、光の家創立から続く、最も大切な行事の一つです。創立者秋元梅吉のキリスト教信仰によって生まれた光の家が、創立の精神を継承し、今年一年の歩みを振り返る大切な時間です。今年度も、第一部「礼拝」、第二部「祝会」、第三部「会食」として十二月一七日火曜日に行われました。今年度の記念講話は、相澤忠一理事に「イエス・キリスト

の降誕がもたらしたものと題し、神の福音は「救し」であることをマンデラ氏、キリノ氏二人の元大統領の赦しとご自身の体験を通してお話しいただきました。第二部は聖歌隊による讃美歌九五番・九八番の発表と光の家新生園による「イエス・キリストの復活」劇。聖歌隊は一年の集大成として臨み、三七名の心のこもった純粋な歌声が講堂に響きました。光の家新生園

による劇は演劇クラブの部員が中心となり、若々しく活気に満ちた新生園らしい復活劇を披露しました。第三部は会食。今年の新メニューは「カナンからの贈り物」と題されたボリウムたつぷりの手作りスイーツ。キッチン&カフェ「カナン」と食事課共同での制作は試行錯誤の連続でしたが、努力の甲斐があり大変好評でした。神様の祝福に包まれて、お世話になった皆様にご出席いただき、一年を締めくくる心温まるクリスマスとなりました。有難うございました。

(光の家新生園 支援課長)

第95回 東京光の家クリスマス
「イエス・キリストの降誕を祝して」
クリスマス委員長 手島 康光

法人役員

代表理事・評議員

田中 亮治

常務理事・評議員

石渡 健太郎

理事・評議員

相澤 忠一

菅野 寛治

亀岡 秀郎

篠崎 友照

杉山 吉昭

松本 栄二

(五十音順)

監事

白井 富士夫

藤田 洋

顧問

杉山 閑男

評議員

安藤 左子

岩川 雅子

加藤 保清

軽部 義和

佐川 勝宣

横山 公一

(五十音順)

各施設のトピックス

指定障害者支援施設 光の家新生園

笑顔あふれる秋の二泊旅行

新生園では、去る一月二日から一四日にかけて二泊旅行に行ってきました。

今回は、一日目は浅草・ソラマチ班と、大江戸温泉物語・台場班に分かれ、二日目はデイズニerlandで遊び、三日目はサイボクハムというハム工場へ行きました。この時期は修学旅行や観光シーズン真つただ中ということもあり、どこも人が多く、大変な面もありましたが、みんなに旅行の感想を聞くと、中には「生まれて初めてもんじゃ焼きを食べました。」といった声や「初めてデイズニerlandに行きました。」といった声も聞かれ、それぞれの楽しかった様子が伺えました。

また、二泊旅行のお楽しみみの一つが「お土産」です。みなさん、家族へのお土産はもちろん、普

段お世話になっている方へ、たくさんのお土産を買っていました。

係としては反省点もありましたが、みんなの笑顔に助けられたのではないかと思います。さて、来年はどこに行きましようか。

(光の家新生園 支援課

主任 小倉 実知彰)



夢の国ディズニーランドで

指定障害者支援施設 光の家栄光園

都会・新宿探訪 ～一日外出行事～

栄光園の秋の行事の一つである「一日外出行事」は、利用者に候補地の選定から意見を聞き、目的地を四箇所絞ります。その中には、必ずといって良いほど入ってくる場所があります。それが新宿です。新宿を選んだ利用者には話を聞くと、「あまり行く機会がないから」、「行きたいお店があるから」、「何となくニユース等で聞く名前だからどんなところか知りたい！」等の新宿のネームバリューに惹かれる方もいました。今回、実際に新宿に行かれた利用者に感想を聞くと、「都庁に行つて展望台からの眺めがきれいだった」、「立川や八王子より大きなCDショップで、製造中止のDVDを探して見つかった」、「お気に入りのCDが買えた」等の満足した意見が多く聞かれました。また、新宿に行

くと必ず、ダイキャスト製の車の模型を購入している利用者もいて、「今年はスカイラインを買った」等、とても喜んでいました。自分で目的をもつて好きな行き先を決める行事のため、利用者の皆さんにとって、とても満足のできた行事となつたようです。次の日には、来年も行きたいという声が聞かれました。

(光の家栄光園 就労支援課

主任 萩原 有記)



都会を満喫した1日でした！

救護施設 光の家神愛園

秋を満喫 〱 青梅一泊旅行 〱

一月一八日・一九日に一泊旅行の第三弾として秋の青梅旅行が行なわれました。秋晴れのもと、利用者の皆さん八名と職員五名で出発しました。

ホテルに到着してからはお茶や買い物を楽しみ、午後六時から夕食をいただきました。今回の旅行は秋に行なわれるということ、何か秋を感じてほしいという思いで、メニューの中に松茸の土瓶蒸しを加えてみました。利用者の皆さんからは松茸の良い香りがして美味しいとの感想を聞くことができました。

夕食の後はゆったりと温泉に入ったり、お茶を楽しんだりと各々がくつろいだ時間を過ごしました。二日目はゆつくりバイクの朝食をいただき、お土産等の買い物してからホテルを出発し、途中「日の出イオ

ンモール」で昼食を済ませて帰園しました。今回の旅行は紅葉の季節で他のお客さんも多い中でしたが、それぞれが楽しい時間を過ごすことができ、来年も参加したいとの感想が多く聞かれました。二日間とも晴天に恵まれ感謝したいと思います。

(光の家神愛園 支援課

早見 勝典)



秋晴れに恵まれた旅行でした

障害者通所就労施設 光の家就労ホーム

初めての外出行事

一月一九日、就労ホームで初めての単独行事、一日外出が行われました。

初めての外出行事ということで、利用者は前日から楽しみにしており、嬉しそうな様子が伝わってきました。当日はカナ

しみ方はみんなそれぞれですが、全員が笑顔で楽しい一日を過ごしました。

毎日仕事を一生懸命に行っている利用者にとつての楽しみとなる、行事の意味や大切さを改めて感じた一日でした。

(光の家就労ホーム

就労支援課 廣瀬 千佳子)

た。普段、接することの少ない一階の職員と出かけられることも利用者にとっては楽しみなようでした。天候にも恵まれ、朝から元気に就労ホームを出発し、電車に乗って昭島の「モリタウン」に向かいました。

昭島に着き、楽しい昼食の時間。たくさんのお店の中で、それぞれ好きなものを食べ、満足したようです。昼食の後は、お店を見てまわり買い物をする人、カラオケで歌い踊る人、楽



初めての外出行事に大興奮!!

利用者の声

二〇一四年の抱負

ピカピカにします

光の家新生園 石川 朋子



心を込めてピカピカにします

今、新生園の職業実習で地域交流センターの一階から三階までのトイレ掃除をやっています。最初はいろいろ慣れないことがいっぱいあったけど、だんだん上手にできるようになってきました。

今年は、地域交流センターの他の場所の掃除もできるように、がんばっていききたいです。

今年二五年目を迎える夏祭りの太鼓を頑張ります！

光の家栄光園 野村 泰夫



今年も心新たに頑張ります

僕は夏祭りの太鼓を続けて今年で二五年を迎えます。今年は記念の年なので、ハッピーも新調し、心新たに頑張りたいと思います。またスポーツ大会でもいい記録が残せるように、体力維持に気を付けたいと思います。どんなことにもあきらめず、粘り強く頑張ります！

還暦を迎えて

光の家神愛園 原田 和秀



これからも皆のために頑張ります

私は今年六〇歳の還暦を迎えます。今年も健康に気をつけて、皆のために手となり、足となり、集会の手引きや、頼まれ買い物、食事準備の箸並べ、お茶注ぎをしていきたいと思っています。また、作業で作っている「動物プラントー」をたくさん作っていききたいです。

皆さん、今年もどうぞよろしくお願いします。

今年も元気に働きます

光の家就労ホーム 栗原 八重子



働くことが大好きです

新しい就労ホームに来てから、一年が経って慣れました。紙漉^{かみ}きの仕事をやっています。材料作りを中心にやっていて、きれいな紙が出来るのが嬉しいです。

最近、レストランでの皿洗いの仕事も練習しています。今年も健康に気をつけて元気に働きたいです。

技術の向上に励みます

光の家鍼灸ササジホーム 中島 和子



マッサージホームでお待ちしています

私はマッサージホームで仕事をするようになって今年で二四年になります。私達視覚障害者が新しい治療法や技術を学ぼうとしても、今の三療の世界では晴眼者向け講座が殆どでとても難しいです。マッサージホームでは毎月指導員の先生よりマンツーマンで技術の指導をしていただいています。

恵まれた環境で仕事の出来る私は本当に幸いです。新しい技術を学び、治療に活かしてお客さまに喜んで頂けるように、今年も頑張ります。

第17回 手さぐりの作品展開催

【日 時】平成 26 年 2 月 13 日(木)～18 日(火)
10:00～19:00(最終日は 16:00 まで)※2月17日(月)は休館

【会 場】日野市立とよだ市民ギャラリー
(JR 中央線豊田駅北口徒歩 3 分)
日野市多摩平 2-3-4 オリент丹野マンション地下 1 階
☎042-586-1961

【問合せ】東京光の家 ☎042-581-2340

光の家新生園の利用者の方々が造った作品を展示しています。
今回の作品テーマは「わたしたちの暮らし」です。
是非、実物を見て、触ってご鑑賞ください。



ぜひ見に来てください!

点字教室を 開催します!

視覚障害者の総合福祉施設としての光の家が、点字教室を開催します。

点字を使用したゲームで楽しく遊びながら点字を覚えましょう。また、基礎的な点字の仕組みやルールを学び文章までを読み書きができるようにして、最後にはパソコンを使用した点字編集を学習し点字プリンターで印刷します!

ご興味のある方は是非、ご参加ください!

日 時

平成二六年三月一日(土)
一三時三〇分～一五時三〇分

会 場

東京光の家
地域交流センター 研修室

お問合せ先

東京光の家 地域貢献活動室
電 話 〇四二(五八)二三四〇
メー ル info@hikarinoie.org

会 報 五 言

一、又、新しい年を迎えた。旧年中はあらゆる面でご支援ご指導を頂いた。感謝一杯である。

一、組織のあり方、組織体が行なう事業について理想を求めて励んでいるが、結果はいつも十分でない。無念である。

一、社会福祉施設の経営環境も大きく変化する方向にある。しっかりとした基盤の上に事業を進めなければ・・・。

一、課されている社会的責任を誠意・誠実に遂行する以外に道なし。これが経営を磐石にする唯一の道なりか。
一、すべては人の問題に尽きる。人材を得、人を育てる事が喫緊の課題に対応する道か。

※紙面の写真は、すべてご本人の許可を得て掲載させて頂きました。

自衛消防活動審査会

東京光の家Aチーム

見事優勝！

日野消防署による自衛消防活動審査会は事業所の自衛消防隊員の技術と防災行動力の向上を目的として毎年行われています。この審査会に東京光の家は平成二年から毎年、欠かすことなく参加しています。

今年は一二月一五日に万願寺中央グラウンドで行われました。東京光の家からは二チームが「二号消火栓の部（二人操法）」に参加しました。二チームと



優勝した A チーム
(前：富樫職員、後：武田職員)

も、それぞれ業務の合間を縫って、熱心に練習を重ねてきました。Aチーム（富樫麻也職員、武田枝里子職員）が見事、優勝することができました。Bチーム（小林智職員、宮崎雅人職員）は惜しくも敢闘賞でしたが、両チームとも、きびきびした動作で審査に臨む姿は大変、頼もしく思いました。

(防災活動委員長 平野 吾二)



両チームとも精一杯頑張りました

光の家のお正月

光の家の元旦の食事はお節料理とともに始まります。利用者の皆さんに年に一度しか味わえないお節料理を食事課では心を込め、手作りをしています。利用者の喜ぶ顔を見るために、今年もよりよい食事サービスを提供できるよう食事課一同頑張っています。

(総務部食事課 横島 伸二)



光の家のお節料理

くあとがき

新年おめでとございます。今年も皆様にとつてよき年になるようお祈り申し上げます。さて、今回の新年号では光の家が大切にしている「光の家クリスマス」を載せています。

「光の家クリスマス」は世間一般のクリスマスと違いイエスのご降誕を祝い、基本理念を確認する大切な行事です。外部寄稿で加藤評議員から

も光の家退職後、外から見てきた結果、聖書の信仰を基本理念としているところが光の家たらしめているとの事。そして数年後に一〇〇年を迎える中、創立の精神を守り、聖書の神様に全てをお任せすることの大切さを教えて頂きました。改めて私達は聖書の基本精神を絶やすことのないよう努めなければならぬと感じました。

(常務理事 石渡 健太郎)

発行 行 一九九一〇〇六五
東京都日野市旭が丘一七
社会福祉法人 東京光の家
電話 〇四二(五八二)二三四〇
FAX 〇四二(五八二)九五六八
メール info@hikarinoie.org